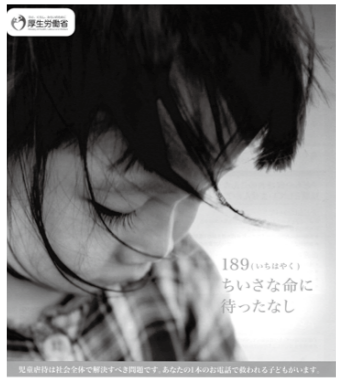




子ども家庭総合支援
拠点の効果

山田 敏夫 議員



189
児童虐待かもと思ったらすぐにお電話ください。

金の使途について
は、ふるさとづくりに一生懸命に取り組んでいるNP

本市は、児童虐待の防止に取り組むため、埼玉県内で5番目となる子ども家庭総合支援拠点を設置したがその効果は。

社会福祉士等の有資格者など6人がチームを組み、家庭児童相談について一層の専門性を持って臨める体制が整った。

また、児童相談所との連携でも独自に判断できる専門性を有したこと等の効果があった。

ふるさと納税の使途

ふるさと納税寄附

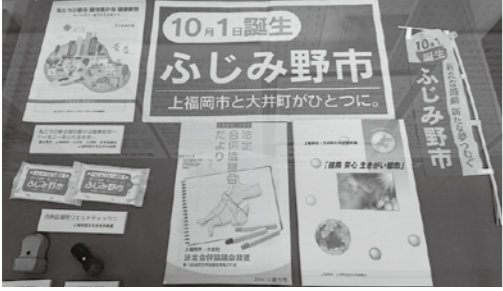
総合的な雨水対策

近年の台風による浸水被害を受けての検証と総合的な雨水対策は。

浸水被害の検証を行い、さらに県や近隣自治体とも連携して雨水対策を進めていきたい。

記念パネル展を開催しては。
市内の魅力を多くの方に知ってもらうことを目的に写真コンテストを開催している。そのような取り組みの中で市誕生15周年と関連性を持たせ、PRしていくか検討する。

合併の協定項目で新市において検討するものとなっている。従来から慣行として花木鳥を定めてきた意義もあることから、市民の意向や機運の高まりなども勘案し、選定を行うか研究する。
上福岡駅に階段アートを
先進事例では、熊谷駅、籠原駅において涼しさを体感する階段アートが展示された。費用対効果も踏まえ研究する。
発車メロディを飛ば



たけふじみんに変更しては。
費用対効果も踏まえ他自治体などの先進事例を研究する。
セカンド成人式を開催しては。
他自治体では、青年会議所、商工会青年部、有志による実行委員会が開催するものが多い。有志の方が企画し教育委員会に対し、後援申請を頂いた時は趣旨を確認して後援したい。

弱視の早期発見についての見解は。
子どもの50人に1人が弱視と言われており、3歳児で弱視を見つけることができれば、小学校入学前に治療ができるとされている。早期発見、早期治療が重要である。
取り組み状況は。
3歳児健診で視力検査を実施。一次スクリーニングとして家庭で行うランドルト環による視力検査がある。二次スクリーニングの必要性があれば、3歳児健診で視能訓練士による検査を行っている。なお、平成29年度は13名が精密検査が必要と判断され、眼科医を受診した結果、2名が弱視と診断された。

空き家の市場流通の活性化
平成31年3月、市内5つの金融機関では地域包括連携協定が締結された。周知・啓発は。
金融機関の空き家のリフォームや解体のローン情報のチラシを作成し、公共施設に配架し、固定資産税納税通知書に同封している。また、産業まつりでも専用ブースを設ける等の対応も行った。

亀久保旧道では死亡事故が続いている。保育園や通学路など生活道路となっており、白線で歩道部分を広げるなど歩行者優先にすべき。車は時速30kmの規制が必要では。
現地を確認する。道路空間の再配分などは警察との協議が必要であり、道路のあり方について研究する。
川越街道下り線からの進入路をもう少し直角に曲がるようにポストコーンを立ててはどうか。
地域の課題を把握し、問題解決のために民間事業者との連携が必要である。相続を起因とした空き家問題が増えている。

学校・地域などからの要望を受け、現地を確認して実施可能な交通安全対策を研究する。
高年齢者の住んでいる家が空き家にならないように民間事業者との連携と、地域住民の協力が必要では。
地域の課題を把握し、問題解決のために民間事業者との連携が必要である。相続を起因とした空き家問題が増えている。



ふじみ野市誕生15周年

加藤 恵一 議員



学校周辺の人通りの少ない
通学路に見守りカメラ設置を

原田 雄一 議員



さぎの森小学校・三角小学校等の人通りの少ない通学路に見守りカメラを設置できないか。
今回、運動公園駐車場も水が上がりてしまった。新河岸川の土手を大型車両が通れるよう改良が必要である。
福岡江川に蓋ができないか。
現在のコンクリートの構造上難しい。



亀久保旧道入口

負担軽減のための財源確保を。
国民健康保険財政調整基金の確保は、一般会計からの法定外繰り入れを全額解消した後、決算に伴う繰越金の一部を積み立てるなどしたい。
国民健康保険税の減免制度の周知を。
納税通知書や被保険者証送付の際に同封するチラシのほか、市のホームページ等により、周知に努める。



国民健康保険税の負担軽減を

新井 光男 議員



回収されたペットボトル